



人間関係を修復するのが「コミュニケーション・セラピー」

11 8月 **どんな子にも 心と心のふれあいを**

田原福祉専門学校で、コミュニケーションセラピストのカニングハム久子先生を招いた公開講座『自閉症とコミュニケーション・セラピー』が開かれました。先生は臨床例を示し、「自閉症児は話さないからわかっていないと思われているが、脳内では反応している。豊かな感情を持っている」「字面でなく言葉の背後にあるものを読む力が必要」など、さまざまな研究の成果を具体的に説明され、約180人の聴衆は熱心に耳を傾けました。



親子で楽しく歩けば、寒さなんかへっちゃらさ！

12 5月 **身近な街 歩けば何か見つかるかも**

身近な地域の素晴らしさを再発見しながら健康づくりを目指す冬のウォーキングが開催され、家族連れなど約100人の市民が参加しました。今回は、緑が浜公園芝生広場を発着点に臨海地区と童浦校区内をめぐる約7kmの道のりで、完成間近の風力発電所の風車群を眺めながら歩くコースが設定されました。参加者の皆さんは強風にも負けず元気よく歩き、途中で用意されたミニゲームでも楽しそうに遊んでいました。



4Hクラブが催した「やさいつりコーナー」も大人気でした

11 21回 **やっぱり 地元産が一番です**

恒例のサンテパルク秋の収穫祭がサンテドームで開催されました。今年で9回目となるこの収穫祭では、地元の農畜産物や果物、園芸品などがお値打ちに販売されたほか、もち投げやビンゴ大会、エフエム豊橋の生中継なども催され、家族連れなどで終日にぎわいました。中でも、養豚農家による豚しゃぶやソーセージ、肉牛農家による鉄板焼などのコーナーでは、おいしそうな香りに誘われて長蛇の列ができていました。



「はやく食べたいな〜」。皆さん一生懸命に収穫しました

11 21回 **真っ赤に実った 友好のリンゴ**

田原市の友好都市である長野県宮田村で、11月14日(日)・21日(日)にりんごオーナー収穫祭が開催され、市民など約3000人のオーナーが参加しました。メイン会場の宮田村ふれあい広場では、豚汁のサービスや農産物、特産品の販売などが行われ、参加した皆さんはお弁当を食べたり遊具で遊んだりした後、各ほ場に移り、りんごを収穫しました。宮田村の特産品は、5月のサンテパルク農業祭などで販売します。